

- 問1 7世紀から9世紀にかけて日本が唐へ派遣した使節について、その主な目的を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 唐の強力な軍事力を背景にして、蝦夷と呼ばれた東北地方の人々を武力で平定し、領土を拡大すること。 | 2. 国内の飢饉や疫病による混乱を鎮めるため、唐から大量の食料援助や医師の派遣を受けること。 | 3. 律令国家としての体制を整えるため、当時の先進国であった唐の政治制度や優れた文化を導入すること。 | 4. 朝鮮半島での利権をめぐる争いを有利に進めるため、唐と軍事同盟を結んで新羅を攻撃すること。 |
|--|--|--|---|
- 問2 遣唐使が派遣された時代の状況を記した資料において、当時の唐の文化が日本へ与えた影響について説明されています。この時期に建設された平城京などの都城建設の背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 唐の都である長安の都市計画を模範とし、整然とした碁盤の目状の街並みを目指した。 | 2. シルクロードの影響を強く受け、中央アジアに見られる円形の都市構造をそのまま再現した。 | 3. 商業活動の自由化を目的として、計画的な区画を避け、自然発生的な市場の拡大を優先した。 | 4. 外敵からの侵入を防ぐことを最優先し、万里の長城のように都市全体を高い城壁で囲んだ。 |
|--|---|---|--|
- 問3 奈良時代の743年に制定された、新しく開墾した土地を永久に自分のものにするのを認めた法律を何といいますか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|------------|---------|
| 1. 班田収授法 | 2. 三世一身の法 | 3. 墾田永年私財法 | 4. 太閤検地 |
|----------|-----------|------------|---------|
- 問4 奈良時代の政治の中心地であった平城京について、その造営の背景や特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 唐の国際的な文化の影響を強く受け、大規模な役所や寺院が整備された。 | 2. 武士が政治の実権を握ったため、軍事拠点としての機能を最優先して設計された。 | 3. 外敵の侵入を強く警戒し、都の周囲全体を巨大な石造りの城壁で囲んだ。 | 4. 仏教の政治介入を防ぐため、都の中には一切の寺院を建立しなかった。 |
|--------------------------------------|--|--------------------------------------|-------------------------------------|
- 問5 明治政府が組織を整えていく過程で、行政の最高意思決定を行う「正院」、法案の審議を行う「左院」、各省の調整を行う「右院」の三院が設置されました。これらの三院を統括する位置にあり、古代の律令制に倣って名付けられた最高機関の名称として正しいものを選びなさい。 (2020年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| 1. 太政官 | 2. 参議 | 3. 枢密院 | 4. 議定 |
|--------|-------|--------|-------|
- 問6 奈良時代の平城京跡などからは、当時の様子を伝える多くの木簡（もっかん）が出土しています。これらの木簡には、地方から送られた「生蘇（乳製品）」などの品名や送り元の地名が記されており、荷札のような役割を果たしていたことが分かっています。このように、各地の特産物を中央政府へと納める律令制の租税を何といいますか。 (2023年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|-------|
| 1. 庸 | 2. 調 | 3. 租 | 4. 雑徭 |
|------|------|------|-------|
- 問7 8世紀前半に完成した、神話の時代から持統天皇までの出来事を年代順に記述した歴史書であり、中国の歴史書にならって漢文で記された書物を次の中から選びなさい。 (2017年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 風土記 | 2. 万葉集 | 3. 日本書紀 | 4. 古事記 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問8 奈良時代、日本の仏教の教えを正しく広めるために、唐から5度におよぶ渡航の失敗や失明という困難を乗り越えて来日し、奈良に唐招提寺を建立した僧は誰ですか。 (2019年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 法然 | 2. 最澄 | 3. 栄西 | 4. 鑑真 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問9 701年に制定された大宝律令において、法体系の名称である「律」と「令」がそれぞれ示している内容の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 土地の売買に関する規定と、年貢を徴収するための計算に関する規定 | 2. 仏教の儀式に関する規定と、貴族の身分を決定するための階級に関する規定 | 3. 軍事に関する規定と、外国との外交を行うための儀礼に関する規定 | 4. 刑罰に関する規定と、政治を行うための組織や運営に関する規定 |
|------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
- 問10 奈良時代、律令国家の体制を整える一環として、朝廷は各国に命じて、その土地の地理、産物、そして古くから伝わる伝承などを報告書としてまとめさせました。この記録を何といいますか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 万葉集 | 2. 古事記 | 3. 日本書紀 | 4. 風土記 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問11 奈良時代に墾田永年私財法が制定されるに至った、当時の社会的な背景として最も適切な説明はどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 武士が各地で勢力を強め、自分の領地を法的に保護するよう朝廷に強く求めたため。 | 2. 大陸との交易を活発にするため、港周辺の土地を民間に売り出し、商工業を育成しようとしたため。 | 3. 重い税や労役から逃れるために農民が土地を離れ、口分田が不足し、政府の収入が減少したため。 | 4. 仏教による国家鎮護を目指した聖武天皇が、全国の農民に寺院を建立するための土地を与えたため。 |
|---|--|---|--|
- 問12 律令時代の人民の負担のうち、口分田を与えられたすべての人々に課され、収穫した稲の約3%を納める税を「租」といいます。この「租」と、当時行われた「男子を女子と偽る不正（偽籍）」の関係について述べた文として、適切なものはどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 租は都へ行って働く労役の負担であったため、女子と偽ることで地方に留まることが可能になった。 | 2. 租は男子にのみ課される最も重い負担であったため、女子と偽ることで納税を完全に回避できた。 | 3. 租は男女ともに課される負担であったため、戸籍上で性別を偽っても逃れることはできなかった。 | 4. 租は女子にのみ課される布などの特産物の負担であったため、男子を女子と偽る動機となった。 |
|--|---|---|--|
- 問13 奈良時代の律令国家が、平城京に「市」を設置し「和同開珎」を鑄造した目的やその背景について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 当時深刻だった銅不足を解消するために、平城京の市に集まる商人から強制的に銅を回収する手段として和同開珎を発行した。 | 2. 全国の農民に貨幣を均等に配布することで、平城京以外の地方都市においても物資の売買を禁止し、自給自足の生活を徹底させるためであった。 | 3. 和同開珎を平城京の市でのみ使用する「記念品」として発行することで、地方から平城京への人口流入を防ぐことを最大の目的としていた。 | 4. 唐の制度にならって国家としての体制を整えるとともに、貨幣を流通させることで都の建設に必要な労働力や物資を円滑に確保しようとした。 |
|--|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 律令国家としての体制を整えるため、当時の先進国であった唐の政治制度や優れた文化を導入すること。	遣唐使の最大の目的は、当時の世界で最も進んでいた唐の政治の仕組み（律令制度）や高度な仏教文化、学問などを直接学び、それを日本に取り入れることで、天皇中心の中央集権的な国家体制を確立することにあります。この派遣を通じて、日本は法制度や都市計画、文字や宗教など多岐にわたる分野で大きな影響を受けました。
問2	答え 1 唐の都である長安の都市計画を模範とし、整然とした碁盤の目状の街並みを目指した。	当時の日本は、先進的な唐の制度を導入することで中央集権的な国家体制を確立しようとしていました。都の建設もその一環であり、唐の政治の中心地であった長安の整った街並みを模倣することで、天皇を中心とする秩序ある統治を視覚的にも示そうとしました。これが平城京における碁盤の目状の区画（条坊制）につながっています。
問3	答え 3 墾田永年私財法	奈良時代、人口の増加により食糧や土地が不足したため、政府は開墾を促す目的でこの法律を制定しました。それまでは「公地公民」の原則のもと、土地は国のものとされていましたが、この法律によって土地の私有化が認められるようになりました。これが後の荘園へとつながる大きな転換点となりました。
問4	答え 1 唐の国際的な文化の影響を強く受け、大規模な役所や寺院が整備された。	平城京が営まれた奈良時代は、遣唐使を通じて唐の進んだ政治制度や国際色豊かな文化が積極的に取り入れられた時期です。都には大極殿などの官庁施設のほか、東大寺をはじめとする大規模な寺院が建立され、律令国家の威信を示す場となりました。中国の都市とは異なり、都市全体を囲むような強固な城壁（郭城）は日本では発達しませんでした。
問5	答え 1 太政官	明治初期の政府は、急激な近代化を進める一方で、天皇による統治の正当性を示すために「神武創業」を理想に掲げ、大宝律令などで定められた古代の名称を復活させました。正院・左院・右院からなる組織体制は、この太政官の下で機能し、強力な中央集権化を図る目的がありました。
問6	答え 2 調	律令制のもとで成人男性に課せられた租税のうち、各地の特産物（繊維製品、水産物、加工品など）を中央政府へ納める義務を「調」と呼びます。平城京跡などから出土した木簡は、実際に全国各地から多様な産物が都へ届けられていたことを示す重要な歴史的証拠となっています。なお、田地の面積に応じて米を納めるものは「租」、都での労役の代わりに布を納めるものは「庸」です。
問7	答え 3 日本書紀	舎人親王らが中心となって編纂された日本最初の正史です。天皇の統治の正当性を国内外に示す目的で作られ、国家の公式な記録としての性格を持っています。
問8	答え 4 鑑真	鑑真は唐の時代の中国で高名な僧であり、日本の僧侶に正しい規律を伝える「伝戒師」として招かれました。当時の航海は命がけであり、何度も難破や妨害に遭いながらも、12年という歳月をかけて来日を果たしました。彼は奈良の唐招提寺を拠点に、日本の仏教における制度（戒律）を整える上で極めて重要な役割を果たしました。
問9	答え 4 刑罰に関する規定と、政治を行うための組織や運営に関する規定	古代の法体系である律令において、「律」は犯罪に対して科される刑罰についてのルールを指し、「令」は役所の仕組み、地方行政、税制など、政治を円滑に進めるためのルールを指します。これらが組み合わさることで、天皇を中心とした中央集権的な国家の仕組みが整えられました。
問10	答え 4 風土記	律令政府が地方の実態を把握するために、713年に諸国へ編纂を命じた地誌です。各地の産物や土地の肥沃さ、地名の由来となった伝承などが詳しく記されており、当時の地方の様子を知るための貴重な史料となっています。選択肢にある『古事記』や『日本書紀』は歴史書、『万葉集』は和歌集であり、地理や産物を主目的とした記録ではありません。
問11	答え 3 重い税や労役から逃れるために農民が土地を離れ、口分田が不足し、政府の収入が減少したため。	班田収授の法に基づき、農民には口分田が与えられましたが、租・庸・調などの重い税負担がありました。そのため、生活に苦しむ農民が土地を捨てて逃げ出す（逃亡）ことが相次ぎ、口分田が荒廃して不足しました。政府は土地を増やして税収を確保するため、開墾した土地の私有を認める方針に転換しました。
問12	答え 3 租は男女ともに課される負担であったため、戸籍上で性別を偽っても逃れることはできなかった。	「租」は口分田の面積に応じて課される税であり、男女の区別なく負担する義務がありました。人々が男子を女子と偽った主な目的は、男子にのみ課せられていた「調（特産物）」「庸（労働の代納）」「雑徭（地方での労役）」といった、より負担の大きい税や労働から逃れるためでした。したがって、性別を偽っても「租」の負担自体を消すことはできませんでした。
問13	答え 4 唐の制度にならって国家としての体制を整えるとともに、貨幣を流通させることで都の建設に必要な労働力や物資を円滑に確保しようとした。	律令国家は、唐の優れた貨幣制度を導入することで、国家としての権威を高めようと考えました。平城京内に市場を整備し、和同開珎による取引を促進した背景には、都の建設に従事する労働者への支払いや必要な資材の調達を、物々交換ではなく貨幣を介して効率的に行うという経済的な狙いがありました。